

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成21年4月16日(2009.4.16)

【公開番号】特開2007-238857(P2007-238857A)

【公開日】平成19年9月20日(2007.9.20)

【年通号数】公開・登録公報2007-036

【出願番号】特願2006-65855(P2006-65855)

【国際特許分類】

C 08 F 4/52 (2006.01)

C 08 F 36/00 (2006.01)

【F I】

C 08 F 4/52

C 08 F 36/00 510

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月3日(2009.3.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

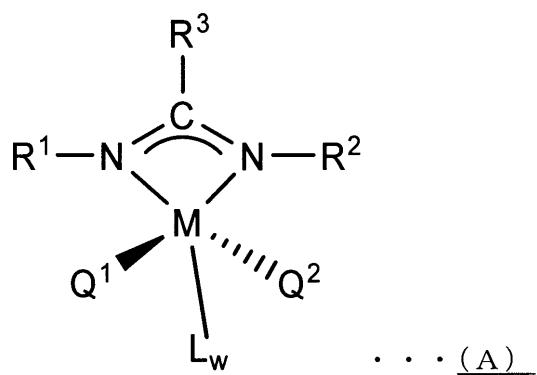
【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

一般式(A)で表される錯体及び触媒活性化剤を含むことを特徴とする、一般式(X)で表されるイソプレン系化合物の重合用の重合触媒組成物。

【化1】



(一般式(A)において、

R¹及びR²はそれぞれ独立して、アルキル基、シクロヘキシル基、アリール基又はアラルキル基を示し、

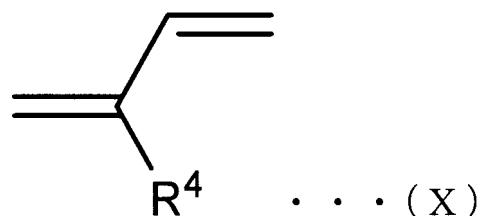
R³はアルキル基、アルケニル基、アルキニル基、アリール基又はアラルキル基、脂肪族、芳香族又は環状のアミノ基、若しくはホスフィノ基、ボリル基、アルキル又はアリールチオ基、アルコキシ又はアリールオキシ基を示し、

Mは、スカンジウムSc、イットリウムY又はプロメチウムPmを除くランタンLaからルテチウムLuまでの希土類元素の何れかを示し、

Q¹およびQ²はそれぞれ独立して、モノアニオン性配位子を示し、

Lは中性ルイス塩基を示し、wは0~3の整数を示す。)

【化2】



(一般式(X)において R^4 は炭素数1~10のアルキル基又はアルケニル基を示す。)

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

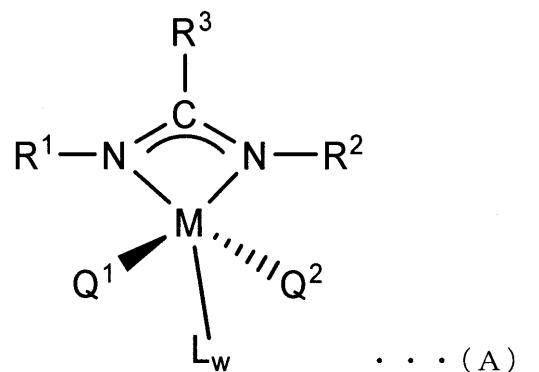
【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

【化4】



【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0045】

【化8】

